

# 災害対策について「伴に」考える研究会

## 第18回定例会

東京オリンピック・パラリンピック開催を視野に入れ、健常者に限らず社会的擁護が必要な高齢者や障害者等、あるいは言語等外国人が抱える問題にも目を向け、地域社会や地域住民の多様性や個々の特徴を把握・理解・尊重し、何より **命** を一義的に、災害対策の基本である安全・安心確保のための、Health (健康)・Coexistence (共存)・Well-being (幸福) を意識した「地域に内在する多種多様なリスクを把握した上での医療・保健・福祉支援システム」を協働で創ることを本研究の目的とする。

日時： 平成30年7月2日(月) 開場:16時30分、開演:17時00分  
会場： 成城中学・成城高等学校(新宿区・指定避難所)、大会議室  
新宿区原町3-87(都営大江戸線牛込柳町駅西口すぐ)

要援護者への支援を踏まえての住民自治による避難所運営  
—熊本地震の地域拠点の実際と教訓—

熊本学園大学社会福祉学部・教授

**高林 秀明 先生**

座長： 内藤 俊夫(順天堂大学医学部総合診療科、教授)

☆15時40分からは、成城避難所女子会によって、車椅子を使っの演習・ペット同行避難の演習を実施いたします。見学等歓迎致します！

※ 新宿区・成城関係者、研究会・研究班メンバー、順天堂関係者、その他 (要申込)

共 催：新宿区成城学校避難所運営管理協議会、成城避難所女子会  
災害対策について「伴に」考える研究会、順天堂大学医学部総合診療科

問合先： 坪内 暁子、akiko@juntendo.ac.jp  
(成城避難所女子会世話人／順天堂大学大学院医学研究科助教)

